



広報戦略推進事業

【広報室会議】

1.SNS広告の実施

インターネット、SNSによる動画等の普及やその広報力が高まっていること、また地元からの入学者に集中しない本学の特徴を考慮した広告としてSNS広告に取り組んだ。なお付随して制作したランディングページによって得られた視聴者の動き(閲覧先)等も含め今後の広報活動に役立つ情報が得られた。

- 第1期 R3.6.17~8.16
⇒分析結果 YoutubeよりLINEが受験生世代からの閲覧が多かった。
- 第2期 R3.12.20~R4.1.10
⇒分析結果 ①Twitterから本学のHPへの来訪者数は少なかった。②研究分野へのアクセスが多かった。



- 大学公式Webサイト 1256クリック
- 入試情報・資料請求 443クリック
- 課外活動について詳しく知る 103クリック
- 教育活動について詳しく知る 27クリック
- 研究情報について詳しく知る 183クリック
- キャリア形成支援について詳しく知る 61クリック
- 資料請求はこちらから(バラランボタン) 66クリック

2.NIFS学生広報スタッフの配置、動画制作

令和3年度から本学の広報活動のさらなる活性化を目指す取り組みとして、学生の参画を可能とする学生広報支援員制度をスタートした中で、「NIFS学生広報スタッフ」(令和3年度2名)が、在学生の目線で動画制作に取り組んだ。動画編集の技術を半年間かけて学び、最後に制作した動画については公式ウェブサイトのビデオライブラリに掲載できるものとなった。



【大学生YouTuber】サッカー部員と野球部員がウインド...

【大学生YouTuber】サッカー部員と野球部員がウインドサーフィン講座に参画しました!

実績:

- ①NIFS学生広報スタッフ従事時間 5月~3月 11か月(約190時間)
- ②動画編集講師指導 8月~3月 8か月(48時間)
- ③6月当初の撮影、編集動画と比べると格段に機材を使いこなす力と、編集技術の向上が見られた。1人は令和4年度の同スタッフを継続して引き受けており、編集技術や広報活動への参画を積極的に行っている。

3.卒業生との連携事業「卒業生インタビュー」

大学における主なステークホルダーである卒業生に取材を行い、卒業後の今、本学について思うことや経験を通じて、在校生や入学希望者等に本学の教育・研究・学生生活等をお伝えする企画で、蒼天公式ウェブサイトに掲載している。取材の基本である対面での取材を可能な限り行い、卒業生への事務的負担減や話しやすい環境の中で生まれる素直な気持ちや感想を得られる取材につなげている。また、卒業生と本学の繋がりが強化の一つとしても対面でのインタビューは貴重で、卒業生からは好評価をいただいている。



トップバッターは同窓会会長北村尚浩教授から始まり、これまでご協力いただいた卒業生は14名となりました。R4.8時点

4.「バララン」を活用した広報活動

制作数:100枚(エンブレム300枚)
主な配布:(エンブレム版)新入生オリエンテーション、入試広報のノベルティとして配布

制作数:200枚(エンブレム200枚)
主な配布:PRマネージャー、オープンキャンパス参加者等へ配布

制作数:500枚
主な配布:公開講座参加者、教員、卒業生、入学者等へ配布

制作数:1000枚
主な配布:新入生、公開講座参加者、PRマネージャー、入試広報、イベント時のノベルティグッズとして配布

マスコットキャラクター「バララン」を活用し、本学の認知度アップ、拡散強化を狙った。ミニタオルや付箋紙は郵送にも便利な形態であるため様々な機会幅広く活用できている。今後もグッズを制作し広報活動の利便性や効果を高め、構成員が一丸となって、統一感のあるイメージで行う広報活動に勢いと力強さのあるブランドの強化につなげる。